

SCIENCE AGORA 2017

サイエンスアゴラ 2017 ガイドブック

東京・お台場 テレコムセンタービル 2017年11月24日(金)-26日(日) 10:00-16:00 (初日は 12:45-18:00)

Introduction

「サイエンスアゴラ」は、あらゆる人に開かれた、科学と社会をつなぐ広場です。

サイエンスアゴラ 2017 では、
分野、年代、性別、職業、国籍の境界を越えて多様な人たちが集い、
トップ科学者との対話、市民参加の科学討論、子ども向けの理科実験などを通して、
これからの「社会とともにある科学」、「科学とともにある社会」のあり方を
皆で考え、行動します。

科学とくらし ともに語り 紡ぐ未来

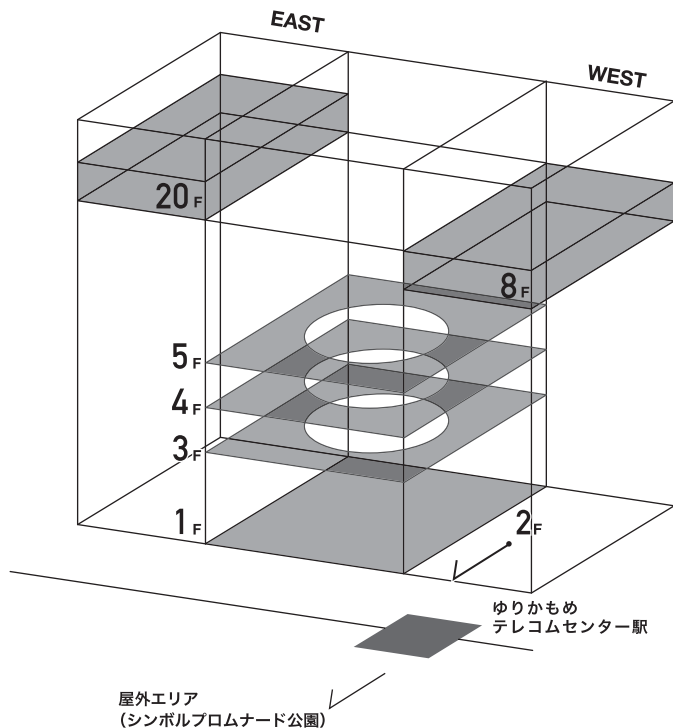
サイエンスアゴラは、今後数年かけて実現すべきビジョンを設定しています。2016年12月からの新しいビジョンは「科学とくらし ともに語り 紡ぐ未来」です。20世紀の科学技術は富や力の追求と並行して発展してきました。しかし、限りある地球資源と世界のひずみを前に、今日の科学技術には限界も見え始めています。とくに成長社会から成熟社会へと移行し、多くの問題を抱え先行きの見えにくい今の日本では、関係者が集う場をつくり、科学と社会のこれからをともに考え、互いの考えを尊重して未来を創っていくことが必要であり、その文化を育てていきたいと考えています。また、ともに考え、行動するあり方は、国・地域や文化によって多様であり、日本ならではの方法を模索したいと考えています。



越境する

社会の新しい価値に気づき、現代の多様な問題を解決するためには、ひとつの学問分野や立場、世代の知恵だけでは十分ではありません。すでに、さまざまな壁を越えて人々の知恵を紡ごうとする動きは見え始めています。科学技術振興機構は、「科学とくらし ともに語り 紡ぐ未来」を実現し、新しいイノベーションを生み出すためのひとつの方法として「越境する」ことの重要性に注目しました。私たちひとりひとりが心豊かに生きていくために科学技術をどう取り入れていくのか、科学技術には何ができるのか、学問分野、立場、国、文化、世代の壁を越えてともに考え、明日への一歩につなげる場としましょう。

全体フロアマップ



EAST
20_F } 会議室エリア
WEST
8_F }

5_F Dエリア
分野の壁を越えて新たな知を創造する

4_F Cエリア
国や地域の壁を越えて地球規模で考える

3_F Bエリア
興味関心は全てを越える
Aエリア
立場や世代を越えて未来を共に考える

1_F アゴラエリア
屋外エリア (シンボルプロムナード公園)

みえちゃう！タッチラリーに参加しよう！

“みえちゃう！タッチラリー”は、来場者のみなさんの行動から、どのような人たちが、どのような展示が好きかを発見する参加型企画です。タッチラリーに参加している企画を巡り、タッチポイントで来場者バスをかざしてみよう！たくさんタッチすると、いいことがあるかも！

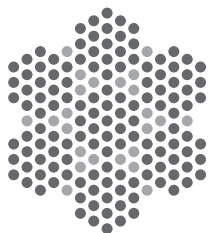


来場者のみなさまへ

- ・プログラムについては変更になる可能性があります。
- ・主催者の記録や外部取材を主な用途として、会場内の写真および動画を撮影しています。
来場者の方が映り込んだ写真を WEB サイトや開催報告書などに掲載させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・災害時・緊急時は、近くのスタッフの指示に従ってください。
- ・迷子や落とし物のご連絡、救護の必要がある場合は、アトリウム 1F の総合受付またはお近くのスタッフにお声かけください。

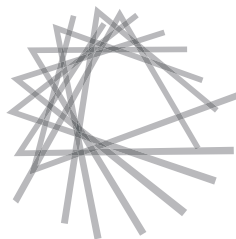
みんなのお気に入り企画を投票して、参加者特別賞を選ぼう！

サイエンスアゴラを楽しんでいただいた後は、印象に残る企画、面白かった企画を投票して、サイエンスアゴラ全体の感想をお聞かせください。
総合受付でお渡しするアンケート用紙にご記入いただき、2 階カウンターで提出してください。



「複眼」

見た人の想像によって、見え方に変化が現れます。興味や好奇心を持って想像することが科学において最も重要なことであり、それは科学者だけでなくみんなができることです。見た人が想像を掻き立てられるようなロゴを提案します。



「パルス」

発見やひらめきを感じた瞬間、人は大きな喜びを感じます。その気持ちが跳ね上がる瞬間を捉え、ロゴにしました。一つの要素が重なり、紡がれていく様子を表しており、多数の要素が集まることで大きく広がりを見せる場を象徴します。未来へとさらに発展していく様子を未完成な形で表し、中心に見られる濃淡は過去と未来を表します。

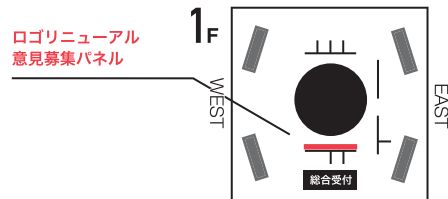


「心臓」

人は頭で考え、思考します。ですが実際に私たちが突き動かされる時、わたしたちは心からエネルギーを感じます。そのエネルギーを複数の面が集まってできた心臓で表しました。

— 2018年、サイエンスアゴラのロゴマークが変わります —

2016年12月、サイエンスアゴラのビジョンが「科学とくらし ともに語り 紡ぐ未来」に刷新されたことに伴い、2006年から使用してきたロゴマークをリニューアルするプロジェクトが始動しました。サイエンスアゴラ会期中、1Fアゴラエリアの特設コーナーで新しいロゴマークのデザイン候補をお披露目し、同時に、「サイエンスアゴラはあなたにとってどんな場所ですか？」というアンケートを実施しています。ぜひ、みなさんの声をお聞かせください。



セレモニー・基調講演

講演やパネルディスカッションでは、科学技術の活用でよりよい未来づくりにチャレンジする方をゲストに迎え、これからの社会に必要とされるさまざまな考え方を共有します。

101 開幕セレモニー

108 閉幕セレモニー

24
FRI
12:45
13:30

26
SUN
15:30
16:00

1F アゴラエリア アゴラストージ

主催：科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター

24
FRI

135 基調講演

8F 会議室エリア 会議室 B ※日英同時通訳・日本語字幕あり

主催：科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター

ノーベル平和賞受賞者・ムハマド・ユヌス氏と、ガジャ・マダ大学（インドネシア）前学長のドゥイコリタ・カルナワティ氏が登壇！

世界が抱える深刻な問題に取り組むお二人が、それぞれの「越境」を語ります。

13:45
15:00



「3つのゼロの世界を達成するテクノロジーとソーシャルビジネス」

ムハマド・ユヌス氏

Muhammad Yunus

(2006年ノーベル平和賞受賞者・グラミン銀行創設者・経済学者)

ムハマド・ユヌス氏は、2006年にノーベル平和賞を受賞した経済学者です。バングラデシュでグラミン銀行を創設、貧しい女性達を中心に無担保・低金利で少額融資を行うマイクロクレジットを生み出し、世界の貧困問題撲滅に向けた努力が高く評価されました。ユヌス氏は、貧困ゼロ・失業ゼロ・総炭素排出量ゼロの世界の実現を目指し、「技術、若者、良い政府、ソーシャルビジネス」の力を結ぶことに尽力されています。貧困など社会の深刻な問題に目を向ける若者が、学問分野、立場、国、文化、時代の壁を越えて協力を生み出せる「問題解決の起業家」へと変わる機会を、学术界が作っていくことの重要性を語っていただく予定です。



「科学者の社会的責任としての挑戦；災害多発地域でのレジリエントな社会の開発」

ドゥイコリタ・カルナワティ氏

Dwikorita Karnawati

(インドネシア ガジャ・マダ大学前学長)

ドゥイコリタ・カルナワティ氏は、学生・教員と地域コミュニティとの協働により、自然災害に幾度も苦しめられてきた国土を熟慮した画期的な地すべりの早期警戒システムを構築し、地域の減災に貢献しました。科学者が社会の中で果たすべき使命とは何か、科学者が大学や学术界という境界の内側に閉じこもることなく社会と深くつながり、従来にない価値を生み出す行動哲学を、迫力ある事例で語っていただく予定です。

24
WEST 8F 会議室 B
FRI

15:15 貧困 × ジェンダー 136

16:30

主催：科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター ※日英同時通訳・日本語字幕あり

日本では6人に1人が相対的貧困にあり、ひとり親家庭、特に母子家庭でその傾向が顕著です。また、若者の貧困は未来の社会に大きな影響を与えます。国際的な最重要課題でもある貧困は科学技術によって解消できるのか、その可能性を探ります。

16:45 科学で持続可能な未来都市をつくろう！～SDGs達成で変わる世界～ 137

18:00

主催：科学技術振興機構 STI for SDGs タスクチーム ※日英同時通訳・日本語字幕あり

近未来の人々が暮らす「持続可能な都市」の実現に資する科学技術とは？ 世界人口の7割が都市に住む2050年を見据え、水・エネルギー・食糧・防災・交通などの課題解決に向けた国や産学官を越えた取り組みから議論を深めます。

25
WEST 8F 会議室 A
SAT

10:30 宇宙での生命と有機物探査：たんぼぼ計画とアストロバイオロジーの今後の展開 131

12:30

主催：国際宇宙ステーション曝露部実験たんぼぼチーム（東京薬科大学、JAXA、他）※日本語字幕あり

国際宇宙ステーションの外側で実施された「たんぼぼ計画」。地球の微生物は宇宙で生き残れるのか、宇宙塵の成分はどういうものか。実験結果を通じて明らかになった事実とは？

13:30 人工知能（AI）との共生 ～人間の仕事はどう変化していくのか？～ 132

15:00

主催：科学技術振興機構 戦略研究推進部 ※日本語字幕あり

AIの研究者や人文社会科学系の研究者など、第一線で活躍する専門家が、人間の暮らしに最も密接なもの1つである「仕事」を中心にトークセッションを行います。AI時代を生きるために今できることを、一緒に考えてみませんか。

26
WEST 8F 会議室 B
SUN

10:15 うちの子、少し違うかも…II ～エビデンスに基づく発達障害支援をみんなで考える～ 140

12:30

主催：科学技術振興機構 社会技術研究開発センター（RISTEX）※日本語字幕あり

発達障害児とその保護者・家族などに対する、エビデンスや科学的知見に基づいた、家庭・学校・地域・行政などにおける支援のしくみや最新の取り組みを紹介。さまざまな障壁を乗り越え、改善していくための具体的方法について、分野・領域を超えて考えます。

13:30 ゲノム編集時代の生殖医療と私たち 141

15:00

主催：日本学術会議 科学と社会委員会 ゲノム編集技術と社会に関する検討分科会 ※日本語字幕あり

ゲノム編集により子の遺伝子を改変する生殖医療が可能な国がある一方、日本では法整備が進んでいません。今後、日本が進むべき方向を含め多角的に論じます。

1F アゴラエリア

24
FRI

25
SAT

26
SUN

お笑い数学ネタライブ&数学大喜利チャレンジ 02

(日本お笑い数学協会)

終日

数学がもっと楽しくなる「お笑い数学ライブ」の実演をします。来場者参加型の数学大喜利にもチャレンジ!

25
SAT

復興期における被災地の課題と科学コミュニケーション 05

(ふくしまサイエンスぶらっとフォーラム spff)

終日

「放射線教育・普及や自然災害」の問題など、福島県の復興期における科学コミュニケーションの現状と課題を発信。立場を越えた相互理解を目指します。

24
FRI

25
SAT

26
SUN

ドラマ「遺伝学的検査が家にやってくる!？」06

(東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 ゲノム医学普及啓発寄附研究部門)

終日

がん治療中の母を巡る家族のミニドラマ「遺伝学的検査が家にやってくる!？」を上映。ご自身やご家族に起こりうる影響について、リアルに考えてみませんか?

25
SAT

26
SUN

Science QAmunication ! 07

(北海道大学 CoSTEP)

終日

誰かが考えた「問い」や「課題」の【答え】を考えてみましょう。みんなで考えた新たなコラボレーションがブースにどんどん集まっていきます。新しく「問い」を出した方には、その「問い」を記したバルーンをプレゼント! (数量限定)

25
SAT

26
SUN

金閣寺のきらめきは漆のおかげ 08

(チーム漆サイエンス)

終日

金閣寺の金箔の下に漆黒の漆が塗られているのを知っていますか? 輝きを支える漆の役割を紹介します。漆絵の上に金粉をまく蒔絵(まさえ)体験もできます(有料)

4F ミニステージ 2

26
SUN

どこへ向かうの? ビッグサイエンス 115

(高エネルギー加速器研究機構 (KEK))

10:30

12:00

円周 3km もある円形加速器 SuperKEKB をはじめとした次世代の実験施設に関わる研究者や留学生が登場し、ビッグサイエンスがこれからどうなるのか、どうあるべきかを世界的な視野で議論します。

WEST 8F 会議室 C

24
FRI

温泉と地熱発電を科学する!

世代や国籍を超えて文化を継承するには? 142

(総合地球環境学研究所 環太平洋ネクサスプロジェクト)

13:45

15:45

温泉 × 発電 × 文化の越境、多世代共創や多文化共生をめざしたワークショップ形式のセッションで、温泉文化に対する世代間の捉え方の違いや共通点を探ります。

26
SUN

親子でチャレンジ!

-17の世界目標を通じて地域課題をクリアしよう! - 146

(高専-長岡技大連携グローバルPJ)

13:00

15:30

"2030年までに、私たちの手でSDGsを解決したい!" 地球課題やそれを巡る世界の動向などを分かりやすくご紹介。親子向けのSDGs教育ゲームも楽しめます。



Floor map 1F / 3F / 4F / 5F

アゴラエリア

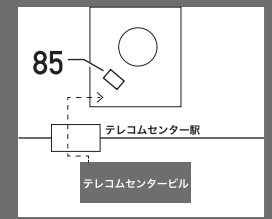
↑ テレコムセンター駅

入口 入口

コンビニ
(24番・25番のみ営業)



★ ★ ★ ★
05 | 06 | 07 | 08



屋外エリア
(シンボルプロムナード公園)

8Fへ



WEST

アゴラステージ
タイムテーブルは P.19 へ

09

20Fへ



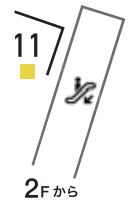
EAST



ロゴリニューアル 意見募集
04 | 03 | 02
■ ■ ★

09

10



- エスカレーター
- エレベーター
- カフェ

自販機

総合受付

01

自販機

- ★ : 注目企画
- : タッチラリー実施企画

企画タイトル	企画提供者名	24 回	25 回	26 回
■ 01 みえちゃう！タッチラリー 2017	産業技術総合研究所 人工知能研究センター	●	●	●
★ 02 お笑い数学ネタライブ&数学大喜利チャレンジ	日本お笑い数学協会	●	●	●
■ 03 先端ロボット技術を活用したベイエリア地区のおもてなし	ユニバーサル未来社会推進協議会（文部科学省） × ベイエリアおもてなしロボット研究会	●	●	●
■ 04 科学をブランディングする - サイエンスアゴラのつくり方	京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab	●	●	●
★ 05 復興期における被災地の課題と科学コミュニケーション	ふくしまサイエンスぷらっとフォーム spff		●	
★ ■ 06 ドラマ「遺伝学的検査が家にやってくる!？」	東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 ゲノム医学普及啓発寄附研究部門	●	●	●
★ ■ 07 Science QAmunication!	北海道大学 CoSTEP		●	●
★ ■ 08 金閣寺のきらめきは漆のおかげ	チーム漆サイエンス		●	●
09 COI モノガタリ。～みらいをつくるう・かんじよう～	科学技術振興機構 COI プログラム	●	●	●
■ 10 体がコントローラになる服型デバイス ～e-skin～	Xenoma / 科学技術振興機構 SUCCESS	●	●	●
■ 11 ★科学の本、どんと100冊展示 ★～好きな本は？何冊読んだ？～	科学の本の読み聞かせの会 「ほんとほんと」		●	●

屋外エリア（シンボルプロムナード公園）

85 「花と緑」のおもてなしプロジェクト	東京臨海副都心グループ	●	●	
----------------------	-------------	---	---	--

【ブース企画 サインの見方】

SDGs 関連企画

(SDGs: 持続可能な開発目標)



対象



親子

英語対応企画



小・中・高・大学生

必要時間

05 min





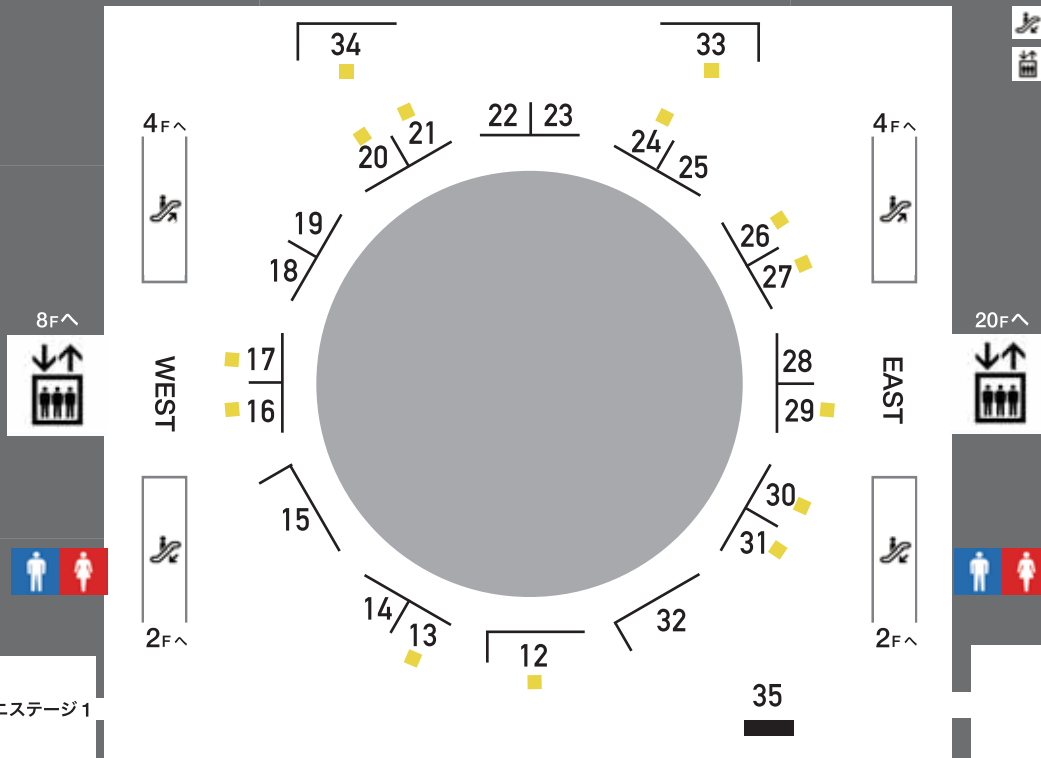
行政・研究者

3F

A エリア 12-16 立場や世代を越えて未来を共に考える

B エリア 17-36 興味関心は全てを越える

-  エスカレーター
-  エレベーター



ミニステージ1
タイムテーブルは
P.19へ

■ : タッチラリー実施企画

Beyond the boundaries of standpoint

and generation

Interests and concern transcend

any of the boundaries

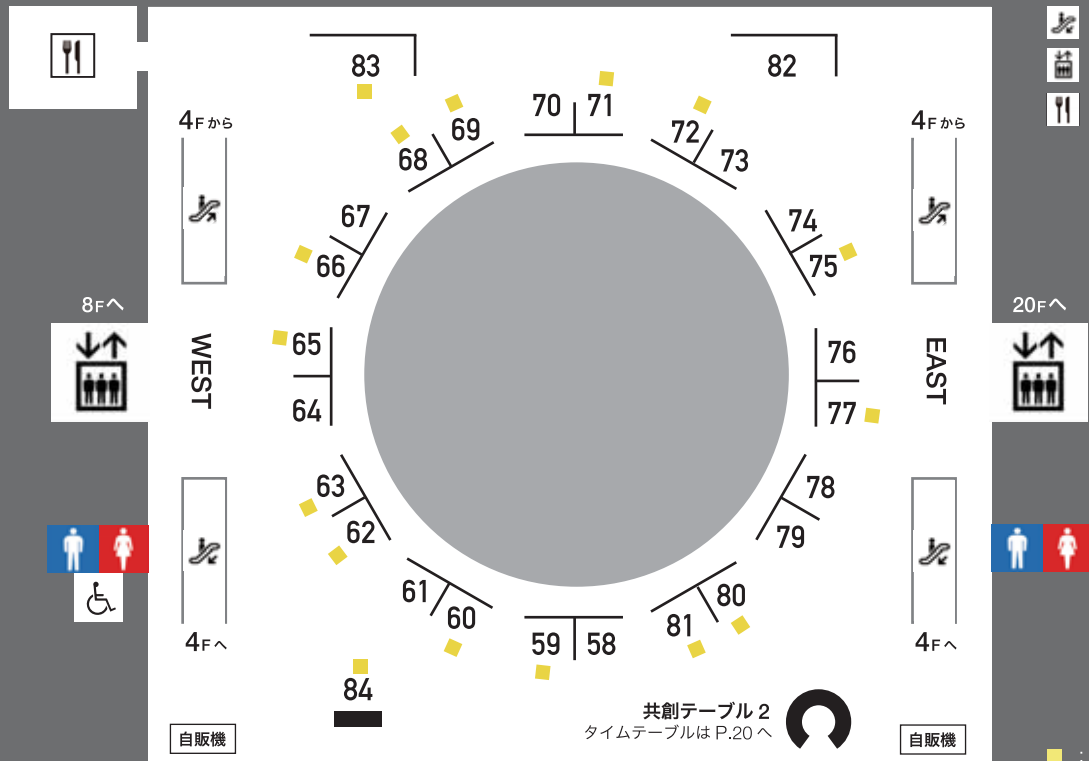
企画タイトル	企画提供者名	24 園	25 出	26 回
■ 12 生物多様性 ～身近な外来種と身近な在来種～	生物多様性保全協会	●	●	●
■ 13 科学オリンピックの問題に挑戦！	科学技術振興機構 理数学習推進部	●	●	●
14 求む、未来の理工系女子！	内閣府男女共同参画局	●	●	●
15 日本発の科学技術イノベーションが未来を拓く！	内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）	●	●	●
■ 16 実務経験の達人企業 OB・OG と、学校と仕事の繋がりを話そう！	経営支援 NPO クラブ	●	●	●
■ 17 産官学民をつなぐ～未来へのアクション～	CePIC みんなの地球公園 国際コミュニティー	●	●	●
18 洗濯のりから“ぶよぶよスライム”を作ろう！	大阪工業大学 サイエンスアラカルトエコール	●	●	●
19 「考える」をもっと楽しく！バズの広場で体感しよう	アソビディア（ASOBIDEA）	●	●	●
■ 20 「究極の飛ぶ吹きゴマ」を求めて	岡山県立倉敷天城中学校 2 年 究極の飛ぶ吹きゴマ研究者	●	●	●
■ 21 「薬を使わずに」痛みを癒す？！ 東洋医学のパワー	東京有明医療大学 鍼灸学科	●	●	●
22 ウェルビーイングな“まちづくり”	殿町リサーチコンプレックス推進プログラム：慶應義塾	●	●	●
23 一滴の水にも 50 の謎	さいたま SciencePartnershipProject	●	●	●
■ 24 同人誌からつながる科学コミュニケーション	コミックマーケットの科学系サークル連合	●	●	●
25 まちなかで科学体験！	八戸高専 科学部	●	●	●
■ 26 みつばちからポップコーン サイエントリストになろう！	聖学院みつばちプロジェクト	●	●	●
■ 27 君の家で科学を発見！不思議探索みゅぜっと団	東京農工大学 musset	●	●	●
28 分子がキラリ☆ ～グラス分子を君の片隅に～	北里大学一般教育部 ガラス細工懇和会	●	●	●
■ 29 弾むスライム作り & ポスター展示	首都大学東京『TMU-SFC』	●	●	●
■ 30 ぐんま☆繭から生糸をつくろう☆スライムをつくろう☆	樹徳高等学校 理科部	●	●	●
■ 31 カードゲーム+化学→∞(無限大)！?	日本大学理工学部化学教材研究会	●	●	●
32 図形と空間の不思議 - 敷き詰め模様で遊ぼう！	日本テセレーションデザイン協会	●	●	●
■ 33 原子・分子の超える見方と触れ方	日本コンピュータ化学会	●	●	●
■ 34 モレキュリアス！-今年は「分子」マジック-	モレキュリアス！～分子を感じよう～	●	●	●
35 祝 キュリー夫人誕生150年 ～キュリー夫人から学ぶ科学教育～	サイエンススタジオ・マリー（SSM）	●	●	●
■ 36 観光案内ロボットの実演	東京都立産業技術研究センター	●	●	●

企画タイトル	企画提供者名	24 国	25 国	26 国
■ 37 ヨーロッパ・オープン・サイエンス・ハウス	駐日欧州連合代表部	●	●	●
38 今、社会に必要な放射線リテラシーとは	日本科学未来館	●	●	●
■ 39 世界に一つの岩石標本製作—ジオパークを楽しもう！	日本ジオパークネットワーク		●	●
■ 40 4D2U/MITAKA の体験を通して自らの地球感を創ろう！	金沢工業大学サイエンスコミュニケーションプロジェクト	●	●	●
■ 42 美しい星空を取り戻そう！～伝統的七夕ライトダウン～	群馬県立前橋女子高等学校		●	●
■ 43 ミネラルウォーター × 地下の世界—水から分かる地下のひみつ—	日本原子力研究開発機構	●	●	●
■ 44 学生と研究者が創る 科学ライブショー「ユニバース」	ちもんず		●	●
■ 45 顕微鏡でみてみよう！じつは身近な「びせいぶつ」	日本微生物生態学会		●	●
■ 46 ImPACT「セレンディピティな微生物を見つけよう！」	革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)		●	●
■ 47 君はサルの壁を超えたか！？骨をみて、サルとの違いを考えよう！	日本人類学会人類学普及委員会、神奈川県立生命の星・地球博物館	●	●	
■ 48 地上の太陽、核融合！未来のエネルギー源の研究開発	量子科学技術研究開発機構 核融合エネルギー研究開発部門		●	●
■ 49 地上の太陽、核融合！体験！！リチウム資源回収の未来	量子科学技術研究開発機構 核融合エネルギー研究開発部門		●	●
■ 50 私たちの暮らしを支える遺伝子組換え技術	農研機構 生物機能利用研究部門 遺伝子組換え研究推進室		●	●
■ 51 どこにある？何が見える？知られざる南極のすがた	つくばサイエンスツアーオフィス茨城県科学技術振興財団	●	●	
■ 52 指先で感じる太古の口マン～粘土で絵を描こう！～	国土防災技術		●	●
■ 53 新提案「M スケール」に挑戦！台風から変化した温帯低気圧に注意せよ！！	文京区立茗台中学校		●	●
■ 54 雪の重さってどのくらい？実際にはかって感じてみよう	日本雪氷学会		●	
■ 55 「磯や潮だまりを体験しよう～海の学びミュージアムサポートの成果物紹介～」と「海の学びミュージアムサポート事業紹介」	船の科学館「海の学びミュージアムサポート」			●
56 南アフリカより、社会の問題解決を科学で	南アフリカ共和国大使館	●	●	●
57 サイエンスアゴラ × 持続可能な開発目標 (SDGs) ～謎解きで持続可能な未来を創れ！～	科学技術振興機構 STI for SDGs タスクチーム、xSDG ラボ	●	●	●

5F

Beyond the boundaries of
academic discipline

D エリア
分野の壁を越えて新たな知を創造する



	企画タイトル	企画提供者名	24 金	25 土	26 日
58	Do you know “脳” ?	川崎医科大学 現代医学教育博物館	●	●	●
■ 59	オエカキ ロボットに挑戦！ ～新しい実験教室のカタチ～	科学イベント&カリキュラム制作会社サイエンスシーズ	●	●	●
■ 60	進化するカイコ・クワ・シルクの科学	日本蚕糸学会	●	●	●
61	ネオビア電子ブロックを使った電子回路の実験	丸越		●	●
■ 62	【キッズ講座】 K3Tunnel（ケイサントンネル） 宇宙ステーションへの旅 ～宇宙をテーマにしたキッズ向けビジュアルプログラミング講座～	新日鉄住金ソリューションズ	●	●	●
■ 63	IchigoJam でプログラミング&電子工作 - Jammy!Programming.KIDS	日鉄日立システムエンジニアリング	●	●	●
64	楽しい電気、楽しい充電式ミニカーを工作	電気理科クラブ		●	●
■ 65	生命をささえるタンパク質の「かたち」	大阪大蛋白研・PDBj・広島市大・立命館大・関学大	●	●	●
■ 66	ようこそバイオの世界へ～バイオとものづくりの融合～	神奈川工科大学 応用バイオ科学科	●	●	●
67	バイキンズワールド 2017	大阪市立大学 × 国立感染症研究所 × ノウション		●	●
■ 68	鑑賞する、病原体・免疫細胞の世界	大阪大学医学研究科・微生物病研究所・免疫学フロンティア研究センター	●	●	●
■ 69	遊ぶプログラミング！学生を超える！	東京都立富士高等学校・附属中学校 科学探究部物理班		●	●
70	分解・構築 Mecha Amber	Mecha Craft Project for Girls		●	●
■ 71	高校生と学ぶ最新3D・VR 技術	群馬県立藤岡中央高等学校理数科	●	●	
■ 72	IT を楽しもう！	Mediart-Tech		●	●
73	はじめてのドローン ～みんなの未来を体験しよう～	慶應ドローン社会共創コンソーシアム&ドローン女子		●	●
74	アルミニウムは凄いです！	日本アルミニウム協会		●	●
■ 75	あなたにも、日本にも、そして人類の役に立つ量子科学技術	量子科学技術研究開発機構（QST）		●	●
76	「明日から使える」実験を体験しよう！	名古屋大学 科学部		●	●
■ 77	インフラってなに？ ～スポーツ大会を支える科学技術～	低炭素社会マネジメント技術研究会		●	●
78	徹底比較！アナログとデジタル	ソラオト		●	●
79	音のバリアフリー	サウンドファン		●	●
■ 80	夢をのせてとばしてみよう！ 2017	自由が丘サイエンスキッズ		●	●
■ 81	Find your WILL 社会を変える意思決定	同志社大学 Share Your Value PJ		●	●
82	材料工学 × 造形学による意外な素材をアート作品へ	室蘭工業大学 × 札幌市立大学	●	●	●
■ 83	材料の子カラ ～未来の科学者たちへ～	物質・材料研究機構		●	●
■ 84	生命科学のデータベースに触れてみよう！	科学技術振興機構 バイオサイエンスデータベースセンター		●	●

Timetable



24
FRI

25
SAT

26
SUN

アゴラステージ

1
F

101 12:45-13:30
開幕セレモニー
科学技術振興機構

102 10:15-11:45
オープニングイベント：サイエンスアゴラ 2017 と EU
駐日欧州連合代表部

103 12:30-13:30
Unity を使って「動く世界」を作る
ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン

104 14:15-15:45
■ 高校生 x イノベーター トークセッション Road to
INNOVATION ~ JST グローバルサイエンスキャンパス~
科学技術振興機構 理数学習推進部

105 16:15-17:00
企画提供者ネットワークング
科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター
(※企画提供者を対象にしたプログラムです)

106 10:30-12:00
カガクをつなげるインターネット
日本コンピュータ化学会

107 13:00-14:30
公開ワークショップ イマドキ世代、野依を超える！？
~ これからを生き抜く科学者になるう ~
科学技術振興機構 研究開発戦略センター、科学コミュニケーションセンター

108 15:30-16:00
閉幕セレモニー
科学技術振興機構

3
F

ミニステージ 1

109 14:00-15:30
九州大学大学院生の STS ステートメント・セッション
九州大学 科学技術イノベーション政策教育研究センター

110 10:15-13:15
■ 東北大学サイエンス・エンジェルに聞け！理系の進路
東北大学サイエンス・エンジェル

111 14:15-15:45
■ ユニバーサル e-ヘルスにおける革新：
地域社会のためのポータブルヘルスクリニックシステム
九州大学 アシル・アハメッド

112 10:30-12:00
「生物多様性~時空を越えて~」見て！聞いて！科学
絵本の本読み隊がやってきた！パートⅧ
科学読物研究会

113 13:30-15:00
Science Busking
Korea Foundation for the Advancement of
Science and Creativity (KOFAC)

- : キーノートセッション
- ★: 注目企画
- : タッチラリー実施企画

24
FRI

4
F

ミニステージ 2

共創テーブル 1

5
F

共創テーブル 2

25
SAT

- 114 13:00-16:00
■ 世界防災フォーラム前日祭「災害に学び、未来へつなぐ」ライブ配信
科学技術振興機構科学コミュニケーションセンター

- 117 10:15-11:15
■ いつでも・どこでも・だれでも天体観測
慶應義塾大学インターネット望遠鏡プロジェクト
- 118 11:45-12:45
■ チリメンモンスターから見た海の世界
岡山県立玉野高等学校 2 年理系チリメンモンスター研究班
- 119 13:15-14:15
自然界にある物質 ~標準物質による分析と計測~
日本分析化学会
- 120 14:45-15:45
■ 科学で迫る伝統の防災術~バヌアツ共和国の場合~
京都大学防災研究所マンタンナチーム

- 124 11:45-12:45
印刷技術による柔軟なモーターを使った、やわらかいロボット制作ワークショップ
ERATO 川原 万有情報網 プロジェクト
- 125 13:15-14:15
Catalysis Park 2017「触媒ってなあに？」
触媒学会
- 126 14:45-15:45
テクノクラフトによる和歌の情景表現
松江高専 電気情報工学科

26
SUN

- 115 10:30-12:00
★ ■ どこへ向かうの？ビッグサイエンス
高エネルギー加速器研究機構(KEK)

- 116 13:30-15:00
女子高生が考えるクズの科学
文京学院大学女子中学校高等学校

- 121 10:15-11:15
■ ミルククララ！鏡の国の揺らぎ遊び
milclra (ミルクラ)
- 122 11:45-12:45
分子調理でお茶会を！
分子調理研究会
- 123 13:15-14:15
質問をつくる学び場ハテナソンで科学を考えよう
ハテナソン共創ラボ

- 127 10:15-11:15
光のヒミツ ~回折格子で見る光の虹~
大阪府立大学 固体物性研究グループ
- 128 11:45-12:45
■ 呼吸と情動との関係ー良い呼吸をしていますか？ー
東京有明医療大学
- 129 13:15-14:15
みんなでしゅぼしゅぼ！ ~真空と私たちの暮らし~
東海大学 サイエンスコミュニケーター

130 14:00-15:30
世界に誇る、地域発サイエンスまちづくりとは!?
科学技術振興機構 リサーチコンプレックス推進プログラム

131 10:30-12:30
● 宇宙での生命と有機物探査：たんばぼ計画とアストロバイオロジーの今後の展開
国際宇宙ステーション曝露部実験たんばぼチーム（東京薬科大学、JAXA、他）

132 13:30-15:00
● 人工知能（AI）との共生 ～人間の仕事はどう変化していくのか？～
科学技術振興機構 戦略研究推進部

133 10:30-12:00
ロボット技術の最先端で社会の障壁を越える！
日本技術士会

134 13:00-15:30
サイエンスアゴラ 2017 光科学シンポジウム「越境する光科学」
科学技術振興機構

135 13:45-15:00
基調講演
科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター

136 15:15-16:30
● 貧困×ジェンダー
科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター

137 16:45-18:00
● 科学で持続可能な未来都市をつくらう！～SDGs 達成で変わる世界～
科学技術振興機構 STI for SDGs タスクチーム

138 10:30-13:00
アジア×日本：高校生×留学生×研究者トークセッション科学の力でアジアから未来を切り拓け！
科学技術振興機構 国際部、理数学習推進部、日本医療研究開発機構 国際事業部

139 14:00-15:30
国連・持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて科学と政策をどうつなげるか？～日本及び世界での政策決定への科学的助言の取組み～
科学技術振興機構 STI for SDGs タスクチーム

140 10:15-12:30
● うちの子、少し違うかも…II ～エビデンスに基づく発達障害支援をみんなで考える～
科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

141 13:30-15:00
● ゲノム編集時代の生殖医療と私たち
日本学術会議 科学と社会委員会 ゲノム編集技術と社会に関する検討分科会

142 13:45-15:45
★ 温泉と地熱発電を科学する！世代や国籍を超えて文化を継承するには？
総合地球環境学研究所 環太平洋ネクサスプロジェクト

143 10:30-12:00
身近な微生物を「理解」し、「制御」するための異分野融合
科学技術振興機構 ERATO 野村集団微生物制御プロジェクト

144 13:30-15:00
データで探究・対論「福島小児甲状腺がん多発問題」
富山大学 科学コミュニケーション研究室

145 10:30-12:00
福島原発事故で学んだ何を次世代に伝えるか？
日本放射線影響学会—福島原発事故対応グループ

146 13:00-15:30
★ 親子でチャレンジ！-17の世界目標を通じて地域課題をクリアしよう！-
高専—長岡技大連携グローバルPJ

147 14:00-15:30
■ JSTの未来社会創造への取組～あなたの思い描く未来と科学技術～
科学技術振興機構 未来社会創造事業

148 10:30-12:00
量子科学技術で壁を越える！人類社会に貢献するQST
量子科学技術研究開発機構（QST）

149 13:30-15:00
「こども科学オリンピック」ペットボトルで釣り大会
ニコニコ科学研究所

150 10:30-12:00
学校×科学館～対話は学びを深めるか～
日本科学未来館

151 13:30-15:00
海の小さな生き物たちをとりまく不思議な世界
日本海洋学会教育問題研究会

24
FRI

152 14:00-15:30
The Landscape of Scholarly
Publishing in China, Korea &
Japan
科学技術振興機構 知識基盤情報部・情
報企画部

162 14:00-17:30
対話で作る、明るく豊かな低炭素社会シ
ナリオ 2017
科学技術振興機構 低炭素社会戦略セン
ター (LCS)

25
SAT

153 10:30-12:00
日曜数学 100 連発
日曜数学会

158 10:30-12:00
Science, and how to
communicate it!
Walid Yassin

163 10:30-12:00
虹ってどうしてできるの? 色の不思議を
探究だ! ('v`)
tanQLABO

154 13:30-15:00
祝 キュリー夫人誕生 150 年
～ マリー・スキューリーの世界
吉祥瑞枝 SSM サイエンススタジオ・
マリー

159 13:30-15:00
シンポジウム「納得して医薬品とつきあ
うために～医薬品の効き目と価格」
くらしとバイオプラザ 2 1

164 13:00-16:00
本音で語るデュアルユース～幸せにな
れる科学研究とは?
榎木英介・三輪佳子・#phdjp 科学と
社会ワーキンググループ

26
SUN

155 10:30-12:00
元素検定 2017 ～めざせ、周期表マス
ター～
元素周期表同好会

160 10:30-12:00
■ 都会と被災地の自然科学体験交流 (流れ
星のかげら)
南相馬サイエンスラボ

165 10:30-12:00
■ 科学と社会の望ましい関係性の可視化:
科学、イノベーションを文化として楽し
み、知識の担い手として活躍するために
岡村麻子 (政策研究大学院大学 SciREX セ
ンター専門職)、川崎文資 (政策研究大
学院大学 SciREX センターインターン/
VIVITA インターン)、西條圭祐 (政策研究
大学院大学 SciREX センターインターン)

156 13:30-15:00
昆虫食を科学する～昆虫は本当に食材
としてみることができなのか～
食用昆虫科学研究会

161 13:30-15:00
越境する研究: HeKKSaGOn 日独 6
大学ネットワーク
HeKKSaGOn (ヘキサゴン) 日独 6 大
学ネットワーク (ハイデルベルク大学、
京都大学、ゲッチンゲン大学、東北大学、
カールスルーエ工科大学、大阪大学)

166 13:00-15:30
■ 宇宙エレベーター実験教室と未来の宇
宙開発
宇宙エレベーターロボット競技会・日
本大学理工学部

サイエンスアゴラ 2017 での体験や感想をお寄せください！

#サイエンスアゴラ



[@scienceagora](https://www.facebook.com/scienceagora)



[@ScienceAgora](https://twitter.com/scienceagora)

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

共催：日本学術会議、国立研究開発法人理化学研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京臨海副都心グループ、特定非営利活動法人 natural science、国立大学法人東北大学災害科学国際研究所、神戸市、福岡市科学館、特定非営利活動法人産学連携推進機構、株式会社早川書房、セコム株式会社

協力：株式会社フジテレビジョン、UD トーク、ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン合同会社、KIRIN、国立大学法人京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab

後援：内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省、一般社団法人日本経済団体連合会、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、一般社団法人国立大学協会、日本私立大学団体連合会

サイエンスアゴラ 2017 企画委員会

委員長 小野 芳朗（京都工芸繊維大学 副学長、KYOTO Design Lab ラボ長）

委員 岡田 栄造（京都工芸繊維大学 教授）

委員 平井 康之（九州大学芸術工学研究院 教授）

委員 中西 忍（科学技術振興機構 日本科学未来館 事業部長）

委員 柴田 孝博（科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター 事務局長）

サイエンスアゴラ 2017 プログラム審査委員会

委員長 渡辺 美代子（科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター センター長）

委員 東原 和成（東京大学 教授）

委員 南澤 孝太（慶應義塾大学 准教授）

委員 藤原 聖子（東京大学 教授）

委員 廣常 啓一（株式会社新産業文化創出研究所 所長）

委員 森田 由子（科学技術振興機構 日本科学未来館 科学コミュニケーション専門主任）

2017 年 11 月 2 日現在 ※敬称略

